

第62回愛鳥週間

平成20年度 野生生物保護功労者表彰

受賞者一覧

1. 財団法人日本鳥類保護連盟 総裁賞

都道府県	氏 名	功績概要
宮 城 県	えんどう やすお 遠藤 泰男	<ol style="list-style-type: none"> 1. 地域の重要な野鳥であるガン・カモ類について他に先駆けて一斉調査を実施し、野鳥保護のための先駆的な活動に尽力した。 2. ラムサール条約登録湿地である伊豆沼内沼に生息する水鳥のための生息環境保全の推進など野生鳥類保護のために多大なる貢献をした。 3. 自ら考案した発砲スチロール製バードカービングの制作、実演指導等を行い、愛鳥思想の普及啓発に大きく貢献した。
富 山 県	おおた やすふみ 大田 保文	<ol style="list-style-type: none"> 1. 38年にわたり小学校において子どもたちの野鳥観察や傷病鳥獣の救護などの愛鳥活動の指導に尽力され、愛鳥教育の推進に多大なる貢献をした。 2. ギンカンドリやヒメクイナの観察記録、ツバメ類3種の繁殖行動観察やスズメの繁殖行動の調査など鳥類に関する研究成果の発表に努めることで鳥類保護に貢献した。 3. 観察会、講演会、著書等を通して野鳥保護思想の高揚に尽力した。

2. 環境大臣賞（6件）

都道府県	氏名	功績概要
北海道	<small>みやかわ</small> 宮川 <small>よしお</small> 與四男	<ol style="list-style-type: none"> 25年にわたり国指定鳥獣保護区管理員として担当地区の釧路湿原で鳥獣の生息状況調査、密猟防止、利用者の指導等について実践され野生鳥獣の保護に貢献した。 昭和50年からエゾシカ狩猟者に対して、違法狩猟の防止、事故の防止など適切な指導を行うほか、残滓<small>ざんし</small>の放置防止のための啓発資材を配布するなど狩猟に関する取締に尽力した。
新潟県	<small>ほんま</small> 本間 <small>りゅうへい</small> 隆平	<ol style="list-style-type: none"> 長年にわたり県内の希少鳥類調査、鳥類生息分布調査、鳥獣保護区設定のための調査等を行うとともに、鳥類保護のための基礎資料を作成するなど鳥類保護のために貢献した。 野鳥愛護会の会長を務め、野鳥保護の集いや探鳥会等を開催するなど鳥類保護の普及啓発に努めた。 国及び県の鳥獣保護区のための現地調査に尽力するとともに、環境審議委員として自然環境部会長を務めるなど野生生物保護行政の推進に貢献した。
沖縄県	<small>おか</small> 岡 <small>とある</small> 徹	<ol style="list-style-type: none"> 25年にわたりサシバの飛来数調査を継続し、研究論文の発表、観察会の実施、密猟防止のための活動などサシバの保護のために尽力した。 渡り鳥のルート調査、外来種であるクジャクの生態調査をはじめ、ツマグロゼミやオカヤドカリの調査にも協力した。 文化財保護指導員、レッドデータブック分科会委員など行政からの各種委員会委員として尽力し、野生生物保護行政の推進に貢献した。

都道府県	氏名	功績概要
東京都	<small>せたがや</small> 世田谷区立 <small>ふなげし</small> 船橋小学校	<ol style="list-style-type: none"> 1. 昭和52年に愛鳥モデル校の指定を受け、以来30年にわたり巣箱かけや給餌活動など野鳥のための環境整備を継続して行い、学校における愛鳥教育の推進に貢献した。 2. 野鳥委員会を設け、月例探鳥会の開催など児童による自主的な取組みを行った。 3. 野鳥を題材にした学習を各学年で取入れ積極的に展開した。
東京都	特定非営利活動法人 <small>おがわらしげんぶんか</small> 小笠原自然文化 <small>けんきゅうしょ</small> 研究所	<ol style="list-style-type: none"> 1. 絶滅危惧種であるアカガシラカラスバトの生息モニタリング調査を継続するとともに、営巣状況、餌資源の調査など基礎的な生態について明らかにするなど保護のために貢献した。 2. 絶滅危惧種であるオガサワラオオコウモリの生息状況調査を行うとともに、農作物への食害を軽減するための防止網の設置など保護のために尽力した。 3. アカガシラカラスバト等希少動物への被害を防止するため野生化ネコの捕獲に協力した。
大分県	大分県 <small>やちゅうともかい</small> 野鳥友の会	<ol style="list-style-type: none"> 1. 昭和57年からイヌワシの生息、営巣のための調査・研究を行うとともに、行政や企業に保護活動を働きかけるなど、イヌワシの保護に貢献した。 2. 愛鳥モデル校の指導、毎年約25回の探鳥会開催、出版物の発行等鳥類保護のための普及啓発に努めた。 3. 鳥獣保護区の設定、鳥獣保護計画策定のための調査をはじめ、鳥インフルエンザ調査に協力するなど野生生物保護行政の推進に貢献した。

3. 文部科学大臣奨励賞（2件）

都道府県	氏名	功績概要
岩手県	盛岡市立 城東中学校	昭和37年から40年以上にわたり、巣箱の作製と巣箱かけに取り組んできた。また、現在では環境学習の一環として自然学習会を行うことで身近な自然や野鳥について学習するとともに、除草や遊歩道の清掃など環境美化にも取り組み、自然と親しむ活動を展開した。
山口県	くだまつ 下松市立 江の浦小学校	昭和47年から学校周辺の野鳥の種類、羽数調査や親子探鳥会を行うとともに、学習発表会の開催や活動をまとめた新聞を地域へ配布するなど普及啓発活動を展開した。また、36年にわたり愛鳥文集「とりと子ども」を発行・配布してきた。

4. 林野庁長官感謝状

都道府県	氏名	功績概要
兵庫県	なかおか 中岡 稔雄	技術家庭科の授業で巣箱を製作し、地域の大学や企業と連携して巣箱かけを行い、中学校での愛鳥教育の推進に尽力するとともに、休日や夏休みには、幼児・小学生対象の巣箱づくり教室を開催し、自然環境及び野生生物保護の普及啓発に努めた。
富山県	富山市立 じんづうみどり 神通 碧 小学校	学校周辺での野鳥観察や校内でのツバメ観察を生活科、総合学習に位置付け、巣箱かけや食餌木の植栽など野鳥のための環境整備を行い学校における愛鳥教育の推進に貢献した。また、県が毎年実施するツバメ調査に協力した。
北海道	あさひがわ 旭川市 だいば 台場小鳥の村	昭和34年から49年にわたり、小学校と地域が一体となって巣箱づくり、巣箱かけ、給餌、植樹、間伐、下草刈りなど野鳥保護のための森林環境整備を実践するとともに、野鳥観察会や愛鳥作品展の開催など鳥類保護の普及啓発にも努めた。

5. 財団法人日本鳥類保護連盟 会長賞

都道府県	氏名	功績概要
群馬県	まつむら なおみ 松村 直美	20年にわたり赤城山におけるヒメギフチョウの成虫・産卵及び幼虫の生息数調査に携わるほか、中国の西北大学と共同研究で西安のギフチョウ、ヒメギフチョウの調査を行うなど保護活動に貢献した。また、観察会や学校での指導を通して自然保護の普及啓発にも努めた。
沖縄県	しまぶくろ のりまさ 島袋 徳正	ノグチゲラの生態調査及び保護のための指針作成等に調査員として従事するとともに、文化財保護指導員としてヤンバルの野生生物保護の監視・保全、指導・助言等に協力した。また、高等学校での教育活動や小学生への観察会指導など保護のための普及啓発活動に尽力した。
広島県	東広島市 ひらいわ 平岩小学校	昭和55年から農業用水の役割がある大沢田池に飛来する渡り鳥の観察を継続することで、地域の自然への関心を高め、自然保護の意識を学習し、普及啓発してきた。また、ため池周辺の清掃活動など環境美化による保全活動も実施した。
秋田県	おとも自然の会	ガン・カモ類の中継地である小友沼において、マガン、ハクチョウ、ヒシクイなど渡り鳥の生息数調査を継続して行い鳥類保護に貢献した。また、小学生等に対し観察会での指導を行うとともに写真展の開催、会報の発行を通して自然保護について普及啓発した。
京都府	かんむりしま 冠島調査 研究会	昭和54年から冠島及び沓島においてオオミズナギドリの生態調査、渡り調査などを行い野生生物保護のために貢献した。また、書籍の刊行や講座、舞鶴市のパンフレットやホームページの作成に協力するなど普及啓発に尽力した。

6. 環境省自然環境局長賞

都道府県	氏名	功績概要
群馬県	やまざき えつこ 山崎 悦子	鳥類の市町村メッシュ調査、ガン・カモ類調査などの調査員として従事し、また、全国野鳥密猟連絡会実行委員として野鳥の密猟撲滅のために活躍し、違法捕獲、違法飼養の防止のための調査に協力するなど鳥類保護に努めた。さらに、傷病鳥類の救護活動にも尽力した。
滋賀県	つぼ みどり 坪 みどり	昭和54年に滋賀県野生鳥獣救護動物ドクターの指定を受け、22年間にわたり野生鳥獣の救護にあたり野生生物の保護に尽力した。
栃木県	やいた 矢板市立 にっしん 日新小学校	ミヤコタナゴの保護を生活科や総合学習に取入れ、山田ミヤコタナゴ保存会とともに生息数調査を行い、学校内の水槽で飼育し、産卵・孵化などその生態を観察した。また、生息池の清掃など環境保全にも協力した。
大阪府	大阪府立 こうづ 高津高等学校	25年にわたり大阪城内壕のプランクトン調査に取り組み、また、淀川流域における淡水野生生物の調査・研究を行うとともに、国内や韓国などの研究発表会やシンポジウムにおいて発表を行い野生生物保護の普及啓発に努めた。
宮崎県	にちなん 日南市立 うしお 潮小学校	ツマベニチョウの飼育、観察に取り組み、育成した蝶の放蝶や食草の保全等の保護活動を行った。また、アカウミガメの上陸・産卵を助けるために海岸のクリーン活動や校内に孵化場を設け、孵化した子ガメを放流するなど野生生物保護のための意識高揚に努めた。
滋賀県	琵琶湖を戻す会	オオクチバスやブルーギルなど外来魚の駆除を平成12年から定期的に行い、琵琶湖淀川水系の環境復元に取り組むとともに、パンフレットの作成・配布やシンポジウムを開催する一方、観察会・講演会等の講師やイベントのサポートを行うなど野生生物保護の普及啓発に努めた。

7. 財団法人日本鳥類保護連盟会長褒状及び会長感謝状

(財) 日本鳥類保護連盟会長褒状 (22件)

◆個人 (11名)

都道府県	氏名
埼玉県	滝沢 直樹 (たきざわ まさき)
千葉県	鈴木 正慶 (すずき せいけい)
石川県	中村 久夫 (なかむら ひさお)
福井県	三原 学 (みはら まなぶ)
山梨県	笠井 雅人 (かさい まさと)
長野県	熊谷 聖秀 (くまがい まさひで)
静岡県	鈴木 康雄 (すずき やすお)
和歌山県	上田 利文 (うえだ としふみ)
和歌山県	後呂 豊 (うしろ ゆたか)
福岡県	麻島 京子 (あさじま きょうこ)
鹿児島県	福島 誠 (ふくしま まこと)

◆学校 (11校)

都道府県	学校名
秋田県	能代市立鶴形小学校 (のしろ つるがた)
山形県	東根市立大富小学校 (ひがしね おおとみ)
茨城県	龍ヶ崎市立城ノ内小学校 (りゅうがさき じょうのうち)
茨城県	坂東市立七郷小学校 (ばんどう ななごう)
埼玉県	草加市立新栄中学校 (そうか しんえい)
千葉県	我孫子市立我孫子第二小学校 (あびこ あびこ)
東京都	杉並区立西田小学校 (すぎなみ にした)
静岡県	富士市立原田小学校 (ふじ はらだ)
兵庫県	兵庫県立豊岡高等学校 (ひょうご とよおか)
宮崎県	延岡市立三極小学校 (のべおか みはえ)
鹿児島県	南さつま市立栗野小学校 (ななつまたま くりの)

(財) 日本鳥類保護連盟会長感謝状 (4件)

都道府県	名称
宮城県	南三陸ワシタカ研究会 (みなみさんりく)
愛知県	矢並湿地保存会 (やなみ)
奈良県	紀伊半島野生動物研究会 (きい)
鳥取県	鳥取昆虫同好会倉吉支部 (くらよし)

8. 環境省自然環境局長感謝状

鳥獣保護員等（63件）

都道府県名	氏名	都道府県名	氏名	都道府県名	氏名
北海道	佐藤 幸男	千葉県	菅澤 忠	岡山県	三木 学
北海道	上田 富男	新潟県	大堀 國江	岡山県	片山 始
北海道	鈴木 昌三	新潟県	脇川 勝雄	岡山県	梅川 博
北海道	島田 昌泰	新潟県	中沢 幾太郎	岡山県	倉持 照憲
北海道	成田 晃	新潟県	伊平 清士	岡山県	上田 健吾
青森県	三上 幹雄	新潟県	松野 恵	岡山県	ありむね やすあき
岩手県	小原 勝人	新潟県	井上 武治	広島県	西本 武昭
秋田県	田村 一	新潟県	栗山 利助	山口県	橋本 龍生
山形県	阿部 武志	新潟県	高山 猛	山口県	山本 卓
福島県	佐藤 順夫	長野県	有坂 之利	山口県	田中 末貞
福島県	大高 紀元	長野県	平沢 善榮	香川県	小山 悦寛
福島県	目黒 只治	長野県	前林 信雄	福岡県	花田 親明
福島県	高橋 久	長野県	上條 益美	福岡県	池田 收造
福島県	寺内 良一	三重県	高木 春男	大分県	佐藤 慶二
福島県	高木 吉男	滋賀県	北脇 芳和	宮崎県	いずみ いつろう
福島県	東谷 洋	滋賀県	谷口 伊佐男	鹿児島県	堀之内 一郎
福島県	遠藤 周壽	滋賀県	小林 洋春	鹿児島県	おおたに ひでゆき
福島県	下山田 甲	大阪府	村濱 史郎	鹿児島県	たにむら あきお
栃木県	中荃 元一	鳥取県	岡垣 大志	鹿児島県	ひらた ひでお
栃木県	杉本 祐二	鳥取県	高平 清孝	鹿児島県	かわぐち ゆきよし
栃木県	おがね 恒夫	鳥取県	三好 忍	沖縄県	うえの かずまさ